

「事業名：福島浪江町における農業“新興”に向けた取り組み～担い手育成に向けて～」 平成30年度補助事業の実績・成果

東京農業大学 連携市町村：双葉郡浪江町

連携市町村との協定締結日：平成31年1月31日 現地拠点：双葉郡浪江町役場本庁舎(3階農林水産課内)

事業のポイント

東京農業大学と㈱舞台ファームとの連携のもと、本学が有する産学官連携のネットワークを最大限に活用したコンソーシアムを形成し、浪江町の農業“新興”のコンセプトのもとで新規就農、六次産業化推進を含めた取り組みを大学の“復興知”を活かして実施する。

今年度の活動実績

①浪江町酒田地区の圃場で地元農業者と稲刈り体験を実施（平成30年10月6日）

浪江町での農業の営農再開・復興を目的として、東京農大3キャンパスの教員と学生が稲刈りとワークショップを行い、農業者との意見交換から今後の課題を共有した。

②福島県沿岸部での営農再開に向けた講義を実施（平成30年11月6日・19日・27日）

東京農大3キャンパスの学生に対して、㈱舞台ファームとの連携により、浪江町における営農再開に向けた取り組みを認識する目的で講義を実施した。

③シンポジウム「浪江町における農業“新興”に向けた取り組み～担い手育成に向けて～」を実施（平成31年1月11日）

東京農大3キャンパスの教員と学生が浪江町の農業“新興”に向けた課題と今後の取り組みに向けた情報発信を目的として、東京都内でシンポジウムを実施した。

④浪江町で実地調査「福島沿岸部農業復興の現状と課題」を実施（平成31年1月13日）

東京農大3キャンパスの教員と学生が浪江町に訪問し、営農再開の現場を見学し、地元農業者とのワークショップを実施することで、浪江町の農業の現状把握と新たな取り組み提案を行った。



今年度の成果

①浪江町での稲刈り体験や現地視察、ワークショップの実施による営農再開に向けた課題の把握

本学学生が延べ54名、浪江町での稲刈り体験、現地視察調査、ワークショップへの参加を通じて、地元の農業者との交流・対話を行い、農業の営農再開・復興に向けた課題の共有と新たな“新興”策について提案を行った。

②舞台ファームとの連携により浪江町の営農再開、新規就農、六次産業化に関するアクションプラン

本学での講義や「浪江町に在籍する農業者の経営実態調査報告書」の作成を通じて、人材面、インフラ整備、販路面での課題を把握し、今後の農業“新興”に向けたアクションプランの方向性を見いだすことができた。

